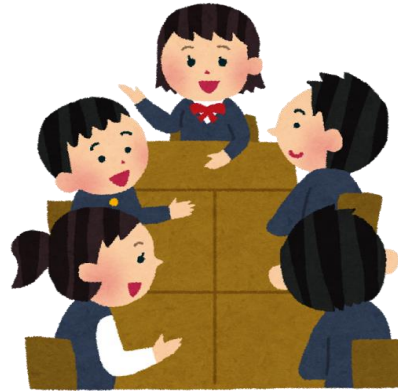


尼崎市立尼崎高等学校

公共

(令和4年度新設)



「公共」とは？

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。（学習指導要領より）

要するに？

教科書には？

2 学びがはかどる「3つの鉄則」

(1) ストーリー

Aと**B**

どちらが記憶に残りやすいか

試してみましよう

ストーリーをおさえる
効果的な方法
まんが、動画、図
(ビジュアル重視)



2 学びがはかどる「3つの鉄則」

(2) 人に教えてもらうより自分で

2 学びがはかどる「3つの鉄則」

(2) 人に教えてもらうより自分で

「なぜ？」→「**仮説・検証学習**」



例

① テーマ設定 なぜ、○○？

② 仮説

- ・ 単なる予想

- ・ **仮説** (学んだこと、生活経験を生かした予想)

③ **検証**

情報収集 ※どの情報が正しいかは確認できない。

→ 出典を明示する

④ 結論、ふりかえり

2 学びがはかどる「3つの鉄則」

(2) 人に教えてもらうより自分で
「どうすれば？」→

課題探究学習「未来をつくろう」

- 1 「どうすれば」から始まる課題設定
- 2 その課題を選んだ理由
- 3 解決策をふせんに書き出す
「実現しやすいか」「効果的か」の2軸で
- 4 採用する解決策を選ぶ
- 5 その解決策にメリット、デメリットを考える
- 6 デメリットに対する解決策を考える
- 7 文章にまとめる



2 学びがはかどる「3つの鉄則」

(2) 人に教えてもらうより自分で

「わたしは〇〇と考えます。その理由は・・・」

①序論

②本論

それについては・・・

確かに（予想される反論）

しかし・・・（反論に対する反論＝反駁）

③結論

したがって・・・ 以上により・・・



主権者教育



問3 生徒Aのクラスでは、次の事例をもとに、合意形成のあり方について考えることにした。後の問い(1)～(3)に答えよ。

事例

町の中心部の渋滞を解消するために、新しい道路を建設する。ルート候補として、ルート1～ルート3の三つがある。このうちどのルートを採用するかをV～Zの5人で決定する。次の表は、ルート1～ルート3のそれぞれを採用した場合における5人の幸福度を数値で表したものである。数値が大きいほど幸福度が高く、数値がマイナスのものは、耐えられないほどの苦痛を受けることを示している。また、多数決で決定をする際には、その者にとって数値が一番大きなルートに賛成することとする。

	V	W	X	Y	Z
ルート1	5	8	1	4	1
ルート2	1	3	7	3	6
ルート3	4	7	6	-1	5

(1) まず、次の決定方法①～③の中から、あなたが取るべきだと考える決定方法を一つ選びマークせよ。なお、①～③のいずれを選んでも、後の(2)、(3)の問いについては、それぞれに対応する適当な選択肢がある。

決定方法

- ① 5人の幸福度の総和ができるだけ大きくなる決定を行う。
- ② 5人の多数決により決定を行う。
- ③ 「耐えられないほどの苦痛を受ける」者が生じない範囲で、5人の幸福度の総和ができるだけ大きくなる決定を行う。

(2) (1)で選んだ決定方法を取るべき根拠として最も適当なものを、次の①～③のうちから一つ選べ。

- ① 社会で決定を行うべきである。
- ② 社会で決定を行うべきである。
- ③ 社会で決定を行うべきである。

根拠として適当なものを選べ

(3) (1)で選んだ決定方法を用いた場合に選ばれるルートとして正しいものを、次の①～③のうちから一つ選べ。

- ① ルート1
- ② ルート2
- ③ ルート3

あなたが取るべきだと考える決定方法を一つ選びマークせよ。

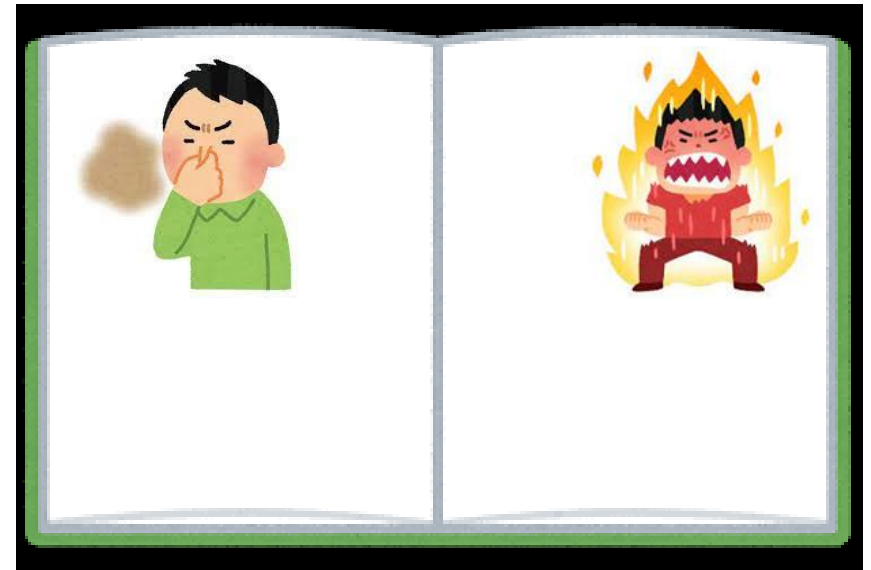
公共の大学入試でも (サンプル問題)

2 学びがはかどる「3つの鉄則」

(3) 感情（喜怒哀楽）や五感とセット

例

イギリス 産業革命と紅茶の関係



2 学びがはかどる「3つの鉄則」

(1) ストーリー

(2) 人に教えてもらうより自分で

(3) 感情（喜怒哀楽）や五感と
セット